

E-ST181, 183系

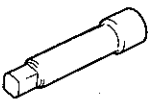
T店

標 題 トヨタ カリーナED 4WSシステム修理要領追加のお知らせ

トヨタ カリーナED修理書（品番62315, 1989年9月発行）に、下記の内容を追加します。

- 4WSシステムフェイル時のリヤステアリングギヤ復帰方法（同相MAX解除方法）
- 4WSシステムも含めた電気系不具合修理時の注意事項および修理後の4WSシステム点検法

準 備 品

SST		09660-14020 ウォームギヤレンチ	リヤステアリングギヤ同相MAX解除用
計 器		09843-18020 ダイアグノーシスチェックワイヤ	4WSシステム点検用

ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ

リヤステアリングギヤ同相MAX解除

バックアップモーターの逆回転による解除方法

注意 イグニッションスイッチがOFFの状態で行う。

- 1 ラグゲージコンパートメントトリムカバー取りはずし
- 2 ステアリングコントロールW/Hプロテクター取りはずし
- 3 バックアップモーターコネクター取りはずし

4 リヤステアリングギヤ同相MAX解除

- (1) ステアリングホイールを左右どちらかいっぱいに切る。
- (2) バックアップモーターのコネクターに、図に示す極性でバッテリー電圧をかけ、モーターを逆回転させる。

注意 コネクターから端子を抜かない。

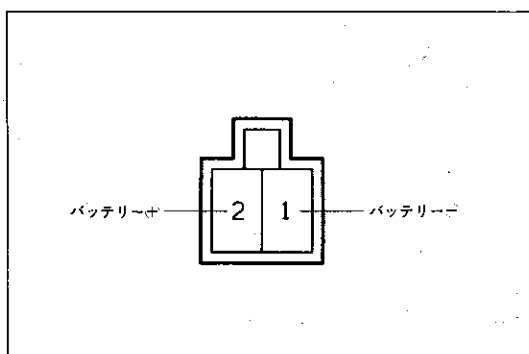
- (3) リヤタイヤがほぼ直進状態になったところでモーターの回転を止める。

注意 ・バッテリー電圧を約5秒間かけてもリヤタイヤが操舵しない場合は、SSTを使用して解除する。

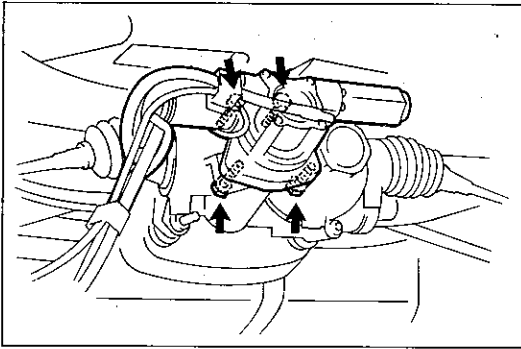
・バッテリー電圧をかけたままにしない。

・バッテリー電圧を超える電圧をかけない。

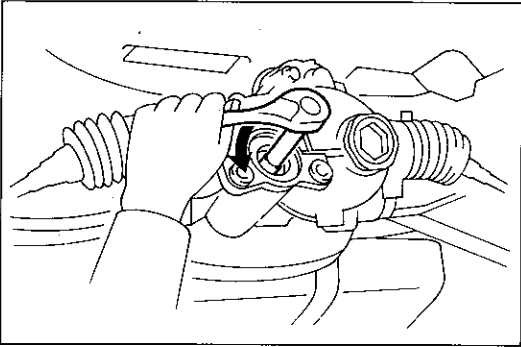
- 5 バックアップモーターコネクター接続
- 6 ステアリングコントロールW/Hプロテクター取り付け
- 7 ラグゲージコンパートメントトリムカバー取り付け



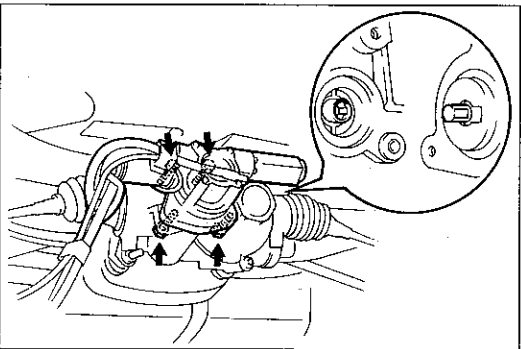
N-2-2



X2596



X2597



X2598

SSTによる解除方法

- 1 ワイヤリングハーネスガイド取りはずし
- 2 リヤステアリングアングルレシオコンバータープロテクター取りはずし
- 3 リヤステアリングアングルレシオコンバーター取りはずし
 - (1) ボルト4本をはずし、コンバーターASSYを取りはずす。
- 4 リヤステアリングギヤ同相MAX解除
 - (1) SSTを使用して、リヤステアリングレバーレシオコントロールウォームを逆相方向に約2回転回す。(反時計回り)

S S T 09660-14020

〈参考〉 5～6回転回すとニュートラル状態になる。
- 5 リヤステアリングアングルレシオコンバーターASSY取り付け
 - (1) 新品のシーリングをコンバーターに取り付ける。

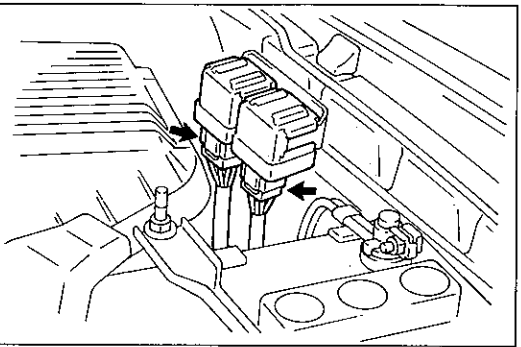
注意 リヤステアリングギヤおよびコンバーターASSYのシーリング当たり面を清掃する。
 - (2) コンバーターのシャフトをコントロールウォームの穴に合わせて、ボルト4本で取り付ける。

T=50kg・cm

〈参考〉 シーリングがあるため、リヤステアリングギヤとコンバーターの間には隙間がある。
- 6 リヤステアリングアングルレシオコンバータープロテクター取り付け

T=115kg・cm
- 7 ワイヤリングハーネスガイド取り付け

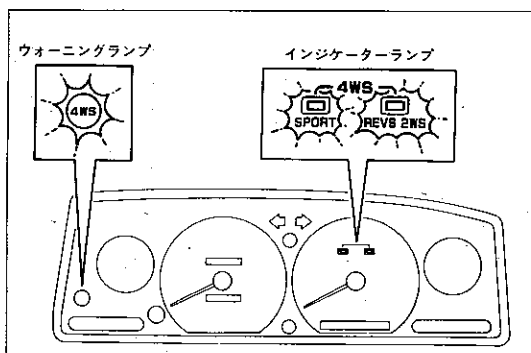
T=55kg・cm



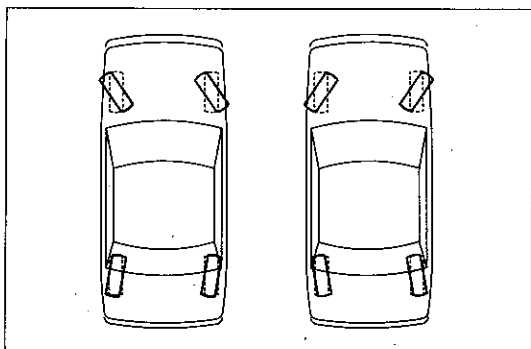
X2599

電気系不具合修理時の注意事項

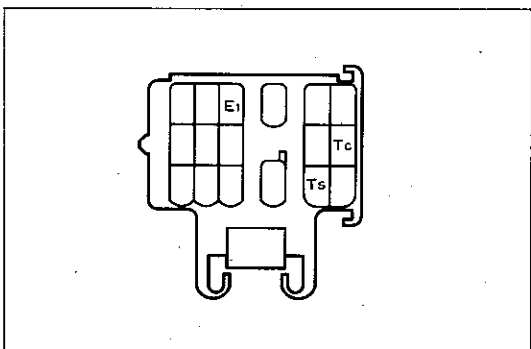
- 1 車両のコネクター全般で、コネクターを切り離す作業がある場合は、そのコネクターを切り離す前に、メインおよびバックアップモーター用のステアリングコントロールリレーコネクターを切り離す。
- 2 ステアリングコントロールリレーのコネクターは、作業の最後に接続し、接続後4WSシステム点検を行う。



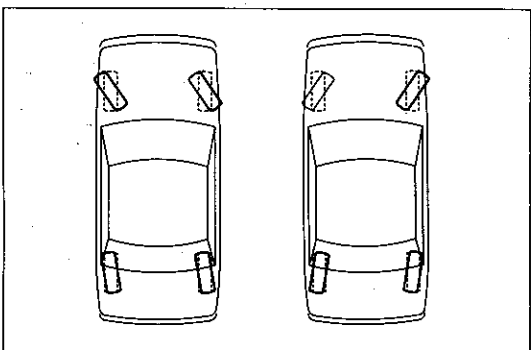
X 0585



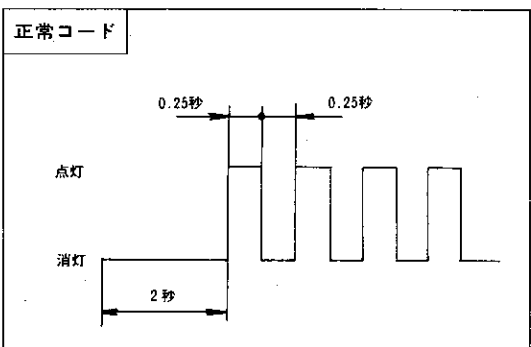
X 0500



SH-18-1



X 0584



4 WSシステム点検

注意

4 WSシステムおよび4 WSシステム以外の電気系不具合を修理した場合には必ず行う。

1 ランプチェック

- (1) イグニッションスイッチをONにしたとき、4 WSのインジケータランプとウォーニングランプが約2秒間点灯し、その後消灯することを確認する。

2 逆相確認

- (1) ステアリングホイールを、直進状態から左右いっぱいに切ったとき、リヤホイールがフロントホイールと逆方向に切れることを確認する。

3 同相確認

- (1) ダイアグノーシスコネクタのTc, Ts↔E1端子を短絡し、イグニッションスイッチをONにする。

注意

コネクタの短絡位置を間違えると故障の原因になるため、絶対に間違えない。

- (2) ステアリングホイールを、直進状態から左右いっぱいに切ったとき、リヤホイールがフロントホイールと同方向に切れることを確認する。

4 ダイアグノーシスコード確認

- (1) ダイアグノーシスコネクタのTc↔E1端子を短絡する。

注意

コネクタの短絡位置を間違えると故障の原因になるため、絶対に間違えない。

- (2) イグニッションスイッチをONにし、4 WSウォーニングランプが正常コードを出力することを確認する。